

道徳 - 3 (第3学年) 話し合い活動を通して、一人一人の児童に自分の思いを表現させる事例

【学習活動の概要】

1	主題名 心から友を思う (友情)	
2	資料名 ないた赤おに 文部省 小学校道徳の指導資料 第2集 第2学年	
3	<p>ねらいとする道徳的価値について</p> <p>「友達」は児童にとって学校生活を左右するほどの重要な存在である。学び合いの場である学校において、児童は友達と助け合ったり、けんかしたりして、試行錯誤をしながら人間関係の在り方を学んでいる。友達は家族とは違った立場から、児童の社会性の基礎を築いていく存在と言える。</p> <p>特に中学年からは仲間意識がさらに高まり、一緒にできた達成感や楽しさを存分に味わえるとともに友達に対する悩みや葛藤も大きくなっていく。人とのかかわり方を深く学ぶ大事な時期である。視野が広くなり、思考の幅も広がっていくこの時期にこそ、友達のことを知り、互いに前向きに助け合おうとする態度を育てたい。</p>	
4	<p>資料</p> <p>「ないた赤おに」は、文部省資料として示されて以来、多くの学校で活用されている。青おにの赤おにに対する献身が深く心を打つ物語で、「心から友達を思い、行動する」という視点からも、友達とのかかわりを考えさせるためにふさわしい資料である。</p> <p>本時では、問題場面を精選し、資料での話し合いの時間を多くとる。また、児童との距離がある資料なので、児童が登場人物を自分自身と重ね合わせて考えられるように配慮する。具体的には「親友に手をあげてしまった赤おに」に着目することで、葛藤する赤おにに共感できるようにする。</p>	
5	<p>本時の学習活動</p> <p>【ねらい】友達と互いに理解し、助け合おうとする心情を育てる。</p>	
	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1. 友達と過ごした楽しい思い出を想起して発表する。 友達と一緒に楽しいときはどんなとき。	身近な経験を想起させ、友達とのかかわりを意識付ける。
展開	2. 資料を読んで話し合う。 青おにに手を振り上げる赤おには、どんなことを考えていたか。  青おにの手紙を読んだ赤おには、どんなことを考えていたか。 青おには、どんな気持ちで赤おにへの手紙を書いていたか。 3. 友情とのかかわりについて、これまでの自分を振り返る。 友達の心から思いやることはあるか。	<p>言語活動の充実</p> <p>話し合い活動を通して、一人一人の児童に自分の思いを表現させ、仲間と学び合っていることや、そのよさを自覚させる。</p> <p>友達の考えを受けた発言を見逃さず価値付け、多様な感じ方、考え方に接することができるようにする。</p> <p>赤おにに共感して、友達が自分のことを考えてくれているときの思いを想像する。</p> <p>中心発問と関連させ、弱い自分も見つめられるようにする。</p> <p>・書く時間を多くとる。</p>
終末	4. 教師の説話を聞く。	

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・道徳の第2内容の第3学年及び第4学年の「2 - 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」に関する事例である。

本事例は、友情を育てることをねらいとして、自分の考えをもたせ、効果的に表現させるなどの工夫を行い、話し合いを深めるようにしたものである。

【言語活動の充実の工夫】

話し合いは、道徳の時間に最もよく用いられる指導方法であるが、話し合いを深めるためには、児童それぞれに自分の考えをもたせ、効果的に表現させるなどの工夫が必要である。本時は、青おにの手紙を再確認して、赤おにの思いを自分とのかかわりで考えさせる。

また、児童に自分の考えをもたせるためには、何について考えるのかを教師が明確に示す必要がある。例えば、読み物資料であれば、どの場面での、どの登場人物の、どのような行為や、判断、動機などの何について考えるのかをよりの確に、より具体的に示さなければならない。

そのためには、教師が読み物資料の構造や表現の意図、そこに含まれる道徳的価値や人間観を深く理解し、さらに、児童の発達段階や実態を考慮に入れ、児童一人一人が資料の内容をつかみ、自分の考えをもつことができるようにすることが大切である。

言語活動の実際 (展開2の概要)

T 1 赤おには、青おにに手を振り上げたとき、どんなことを考えていたのでしょうか。

C 1 とっても悲しかったと思います。「早く逃げて!」と思っていたんじゃないかな。

C 2 叩かないと、自分も乱暴者だと思われてしまう。仲間にも入れてもらえない、と心配だったと思います。

C 3 大好きな友達だから、叩きたくないと思っていた。

C 4 なぜこんなことをしなくてはならないのか不思議だった。

T 2 赤おにの優しさが伝わる意見が多くありますね。でも、自分のことを心配している気持ちもあるんじゃないかなあ。そういう気持ちってありますか。

C 5 ごめんねって心の中で言っていたと思う。

C 6 早くしないと、本当に家が壊れてしまう。どうしよう。

C 7 人間とお菓子を食べたり、お茶を飲んだりしたいなあ。

T 3 いろいろな考えが出ました。青おにを思う気持ち、自分が心配な気持ちもあるかな。

(状況を説明)さて、青おにの手紙、もう一度読んでみましょう。この手紙を読んで、赤おにはどんなことを考えたのかな。

C 8 人間と友達になれて、うれしかったけど、青おにがいなくなってしまったので、叩かなければよかったなあ。

C 9 ぼくは人間と仲良くなれたけど、優しい青おにを忘れていた。

C 10 とっても悲しかったと思います。自分のことを考えすぎたなど、悔しいと思います。

C 11 青おにくんのことを信じていたのに、どうしていなくなってしまったの? 本当は信じていなかったんじゃないかな。もうほかにおにはいない。どうしよう。

C 12 よかったけど、青おにの気持ちを分かってあげられなかった。

C 13 青おにのことでなく、自分のことばかり考えていた。

C 14 とってもショック。胸にじいんときた。いつか帰ってきたら謝りたい。

C 15 青おにくんは、ぼくのために一生懸命やってくれたのに、ぼくはなににもできなかった。

C 16 二人で、人間と仲良くなりたかった。

C 17 青おには、「ぼくはもう、赤おにのそばにはいられない」と思ったと思います。

自分とのかかわりで考え思いを表現

友情にかかわる思いを表現し合い他者理解を図る話し合い

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類: